

第 78 号

お茶の水女子大学学報

昭和 54 年 11 月 1 日

お茶の水女子大学庶務課

目 次

関係法令	1
学内規程	1
人事諸報	2
海外渡航	6
昭和54年度監督者研修について	6
昭和54年度教職員家族運動会の実施について	7
討報	7
新任者住所	7
職員の住所変更	7
住居表示変更	7
日誌(抄)	7

関係法令

【 法 律 】

○恩給法等の一部を改正する法律（法律第54号、9月14日官報）

【 政 令 】

○国家公務員共済組合法施行令の一部を改正する政令（政令第250号、9月19日官報）

学内規程

○お茶の水女子大学規則第6号

お茶の水女子大学大学院規則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和54年9月26日

お茶の水女子大学長 井上 茂

お茶の水女子大学大学院規則の一部を改正する規則

お茶の水女子大学大学院規則の一部を次のように改

正する。

第50条中「第22条（入学手続）、」を「第22条（入学手続）、第23条（留学）、」に、「第16条中「研究科委員会」とあるのは」を「第16条及び第23条中「研究科委員会」とあるのは」に改める。

附 則

この規則は、昭和54年9月26日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

○お茶の水女子大学規則第7号

お茶の水女子大学館山野外教育施設使用細則の一部を改正する細則を次のように定める。

昭和54年10月16日

お茶の水女子大学長 井上 茂

お茶の水女子大学館山野外教育施設使用細則の一部を改正する細則

お茶の水女子大学館山野外教育施設使用細則の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

お茶の水女子大学志賀高原体育運動場及び館山野外教育施設使用細則

第1条中「お茶の水女子大学館山野外教育施設」を「お茶の水女子大学志賀高原体育運動場及びお茶の水女子大学館山野外教育施設」に改める。

第6条第1項中「別表」を「別表第1又は第2」に、「維持費は」を「学生等は維持費及び入浴料を、引率の職員は入浴料を」に改める。

「別表」を「別表第2 館山野外教育施設使用料金表」に改め、同表暖房費の項中「100」を「160」に、「50」を「80」に改め、同表の前に次の表を加える。

別表第1

志賀高原体育運動場使用料金表

区分	摘 要	料 金		備 考
		学生等及び職員	その他の者	
1人1泊に付	使用料	円 —	円 100	(1) 1泊の利用時間は、12時から翌日の12時まで
	維持費	200	500	
	入浴料	150	150	(2) 暖房は、通常、10月1日から翌年の4月30日まで
	燃料費	50	50	
	暖房費	250	250	

附 則

- 1. この細則は、昭和54年11月1日から施行する。
- 2. お茶の水女子大学志賀高原体育運動場 使用細則（昭和47年6月1日制定）は、廃止する。

○お茶の水女子大学規則第8号

お茶の水女子大学学生部長選考規程を次のように定める。

昭和54年10月24日

お茶の水女子大学長 井上 茂

お茶の水女子大学学生部長選考規程

趣旨

第1条 お茶の水女子大学学生部長（以下「学生部長」という。）の選考は、この規程の定めるところによる。

（選考の時期）

第2条 学生部長の選考は、次の各号の一に該当する場合に行う。

- 一 学生部長の任期が満了するとき。
- 二 学生部長が辞任を申し出たとき。
- 三 学生部長が欠員となったとき。

2 学生部長の選考は、前項第1号の場合においては、任期満了の30日前までに、同項第2号又は第3号の場合においては、速やかに行うものとする。

（候補者の範囲）

第3条 学生部長は、本学専任の教授のうちから選考する。

（選考の方法）

第4条 学生部長候補者を選考するため、専任の教授、助教授及び講師による選挙を行う。

2 前項の選挙は、2次に分けて行い、選挙の期日は、1週間前に予告する。

（第1次選挙）

第5条 第1次選挙は、2人以内連記無記名投票により行い、得票順に第2次選挙の候補者4人を選出する。ただし、末位に同点者がある場合は、これを加える。

2 前項の候補者選出に当たり、当該候補者中に各学部から少なくとも1人が入るよう、得票順で実施する。

（第2次選挙）

第6条 第2次選挙は、前条の候補者について単記無記名投票を行い、最高得点者を学生部長候補者とする。ただし、得票同数の場合は、年長者を採るものとする。

（選挙の管理）

第7条 選挙管理に関する事務は、庶務課において行うものとする。

2 選挙の投票及び開票の立会人は、各学部教授会構成員各1人とする。

（任期）

第8条 学生部長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

（雑則）

第9条 この規程の実施に関し必要な事項は、評議会の議を経て学長が定める。

附 則

1. この規程は、昭和54年10月24日から施行する。
2. この規程施行の際、現に学生部長の職にある者は、この規程により選考したものとみなし、任期は昭和54年12月31日までとする。

3. 学生部長候補者選考方法（昭和37年10月24日評議会決定）及び学生部長選考方法について（昭和45年10月28日評議会決定）は、廃止する。

人 事

◎人事異動

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
（採 用）			
54.10.1		堤 江美子	文部技官（家政学部教務職員）に採用する
（昇 任）			
54.10.1	文部技官（家政学部教務職員）	大林 育子	文部教官（助手家政学部）に昇任させる
（配置換）			
54.9.16	文部事務官（厚生課長）	小林 敬二	東京水産大学学生課長に配置換する
（併 任）			
54.10.1	文部事務官（会計課）	田沼 行文	大学入試センター事業部に併任する併任の期間は昭和54年10月20日までとする
〃	文部教官（教授文教育学部）	勝部 真長	評議員に併任する併任の期間は昭和56年4月1日までとする
〃	〃	松本千代栄	評議員に併任する併任の期間は昭和56年9月30日までとする
〃	〃	外山滋比古	〃
〃	文部教官（教授理学部）	伊関兼四郎	〃
〃	〃	石黒 英一	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
54.10.1	文部教官 (教授理学部)	荒木 忠雄	評議員に併任する併任の期間は昭和56年9月30日までとする
〃	文部教官 (教授家政学部)	藤巻 正生	〃
〃	〃	田辺 義一	〃
〃	〃	福場 博保	〃
(併任解除)			
54.10.31	文部教官(横浜国立大学教授教育学部)	長谷川 潔	教授文教育学部の併任を解除する
(事務取扱)			
54.9.16	文部事務官 (学生課長)	樋沼 宗吉	厚生課長事務取扱を命ずる
(事務代理)			
54.8.23	文部教官 (教授理学部)	立花 太郎	理学部附属臨海実験所長事務代理を命ずる
54.9.12	〃	〃	理学部附属臨海実験所長事務代理を免ずる
54.10.4	文部事務官 (事務局長)	池田 国男	会計課長事務代理を命ずる
(復職)			
54.9.19	文部教官 (助教授文教育学部)	池田摩耶子	復職した
54.10.28	文部教官(文教育学部附属小学校教諭)	内藤佳世子	職務に復帰した
(辞職)			
54.9.30	文部教官 (助手家政学部)	小宮真理子	辞職を承認する
(臨時的任用)			
54.10.31		高柳 和子	文部教官(文教育学部附属小学校教諭)に臨時的に任用する 任期は昭和54年12月11日までとする

◎学内委員

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
54.9.1	教授	大口勇次郎	女性文化資料館運営委員会委員を命ずる 任期は昭和56年8月31日までとする
〃	助教授	石黒 節子	〃
〃	教授	瀬野 信子	〃
〃	助教授	原 ひろ子	〃
〃	〃	袖井 孝子	〃
54.9.16	〃	渡辺トサ子	保健管理センター運営委員会委員を命ずる 任期は昭和56年9月15日までとする
〃	〃	前田 侯子	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
54.10.1	教授	浅見千鶴子	教職課程委員会委員を命ずる 任期は昭和56年9月30日までとする
〃	〃	〃	教育実習委員会委員を命ずる 任期は昭和56年9月30日までとする
〃	講師	速藤秀一郎	学生委員会委員を命ずる 任期は昭和55年9月30日までとする
〃	〃	山本 秀行	〃
〃	〃	永野 肇	〃
〃	助教授	五十嵐 脩	〃
〃	教授	春日 喬	学寮委員会委員を命ずる 任期は昭和55年9月30日までとする
〃	〃	伊藤 敬	〃
〃	助教授	富田 守	〃
〃	〃	宮川 幸久	学生会館運営委員会委員を命ずる 任期は昭和55年9月30日までとする
〃	〃	遠山 益	〃
〃	〃	原 ひろ子	〃
〃	教授	堤 精二	施設計画委員会委員を命ずる 任期は昭和56年9月30日までとする
〃	〃	浅海 重夫	〃
〃	助教授	倉田 忠男	ラジオアイソトープ運営委員会委員を命ずる 任期は昭和56年9月30日までとする

◎非常勤講師

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
54.9.16		石黒 洋子	講師(文教育学部附属小学校)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
54.9.20		相坂 浩子	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和54年9月30日までとする
54.10.1		北林 吉弘	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		白銀 一彦	〃
〃		杉原誠四郎	〃
〃		磯田 一雄	〃
〃		稲垣 友美	〃
〃		吉田 敬一	〃
〃		亀里 旦	〃
〃		安藤 良雄	〃
〃		木下 富夫	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
54.10.1		柴田 善家	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		松浦 千誉	〃
〃		吉家 千秋	〃
〃		黒崎千代子	講師(理学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		中原 勝儼	〃
〃		永松 一夫	〃
〃		中村 方子	〃
〃		石田 絢子	〃
〃		草薙 昭雄	〃
〃		石川 孝夫	〃
〃		小沢 健一	〃
〃		山口 静子	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		北原 文雄	〃
〃		小木 和孝	〃
〃		石山 彰	〃
〃		田村 照子	〃
〃		小川 春男	〃
〃		老川 寛	〃
〃		大島 正光	〃
〃		大森 和子	〃
〃		安井 孝治	〃
〃		板谷 麗子	〃
54.10.8		大隅 和雄	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする。
〃		伊藤 善栄	〃
〃		瀬戸 玲子	〃
〃		西村 絢子	〃
〃		伊藤 洋	〃
〃		香原 志勢	〃
〃		藤田美美子	〃
〃		竹内 道敬	〃
〃		水野 忠夫	〃
〃		杉 晴夫	講師(理学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		坂元 平八	〃
54.10.9		田中 妙子	講師(文教育学部附属高等学校)に採用する 任期は昭和54年11月7日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(併任)			
54.10.1	筑波大学助教授	川崎 信定	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
〃	宇都宮大学教授	大友 篤	〃
〃	筑波大学教授	正井 泰夫	〃
〃	東京外国語大学助教授	小沢 周三	〃
〃	東京大学助教授	堀尾 輝久	〃
〃	国立教育研究所	渡部 宗助	〃
〃	筑波大学教授	桑野 豊	〃
〃	筑波大学助教授	片岡 曉夫	〃
〃	東京大学助手	小川 健吾	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
〃	東京工業大学教授	松尾 禎士	〃
〃	東京大学講師	平川 暁子	〃
〃	東京大学教授	野田 春彦	〃
〃	総理府技官放射線医学総合研究所	佐渡 敏彦	〃
〃	東京大学助手	和田 正三	〃
〃	東京農工大学助教授	小原 嘉明	〃
〃	東京大学講師	藤田 長子	〃
〃	東京大学助手	高野 敬	〃
〃	東京大学講師	池本 勲	講師(家政学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
〃	東京大学教授	古賀 正三	〃
〃	〃	蓑田 泰治	〃
〃	厚生技官国立栄養研究所	宮崎 基嘉	〃
〃	文教育学部附属小学校教諭	加藤 康順	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
〃	〃	大橋富貴子	〃
〃	文教育学部附属中学校教諭	佐藤 絢子	〃
〃	〃	富松 京一	〃
〃	文教育学部附属高等学校教諭	三浦 良子	〃
54.10.8	文化庁文化財保護部	仲野 浩	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
〃	東京工業大学教授	小坂 式子	〃
〃	東京大学教授	能勢 幸雄	〃
〃	東京工業大学教授	鶴山 貞登	〃
〃	東京工業大学助教授	新井 郁男	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
54.10.8	千葉大学教授	池田 重	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
〃	茨城大学助教授	藤井 有起	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
54.10.9	文教育学部助手	谷 弘子	講師(文教育学部附属高等学校)に併任する 併任の期間は昭和54年11月7日までとする
(辞職)			
54.9.30	講師(文教育学部)	高野 雅之	辞職を承認する
54.10.31	講師(文教育学部附属幼稚園)	三村 都	〃
(併任解除)			
54.9.30	東京大学助手	逸身喜一郎	講師(文教育学部)の併任を解除する

◎非常勤職員

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
54.9.1		鈴木 二郎	学校医(保健管理センター)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		川村 桂子	事務補佐員(入学主幹付)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		中馬 道子	教務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		北村 キヨ	臨時用務員(文教育学部附属幼稚園)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		前田 良子	〃
54.9.16		乙 佳世子	事務補佐員(附属図書館)に採用する 任期は昭和54年12月28日までとする
〃		昆野 礼子	事務補佐員(文教育学部附属高等学校)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		勝本 裕子	教務補佐員(理学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		江川まゆみ	事務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
54.10.1		市川 緑	事務補佐員(学生課)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
54.10.1		伊藤 真人	教務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		上野 幸子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		村尾 園子	〃
〃		坂本佳代子	〃
〃		小宮真理子	〃
〃		三隅輝見子	教務補佐員(大学院人間文化研究所)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		岩田 浩子	事務補佐員(大学院人間文化研究所)に採用する 任期は昭和54年12月28日までとする
〃		今関 敏子	〃
54.10.16		永嶋 英行	事務補佐員(入学主幹付)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		北川 純子	教務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和54年12月31日までとする
(任用更新)			
54.10.1	教務補佐員(家政学部)	横石多希子	任用を更新する 任期は昭和55年3月31日までとする
(配置換)			
54.9.1	臨時用務員(家政学部)	百 清子	入学主幹付に配置換する
(辞職)			
54.9.30	事務補佐員(会計課)	鳥越留美子	辞職を承認する
〃	教務補佐員(文教育学部)	武田むつみ	〃
〃	教務補佐員(家政学部)	望月萬寿美	〃
〃	〃	堤 江美子	〃
54.10.31	臨時事務補佐員(文教育学部)	森永 裕子	〃
〃	教務補佐員(文教育学部)	太田 孝子	〃
〃	教務補佐員(家政学部)	柴田 マリ	〃

諸 報

○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
文教育学部 助 教 授	徳 丸 吉 彦	カナダ・アメリカ合衆国 ドイツ連邦共和国・連 合王国・ユーゴスラビ ア・イタリア共和国・ フランス共和国	昭和54年度在外研究員として「音楽記号学研究」のため	54. 10. 5 55. 10. 4	出 張
附属高等学校 教 諭	園城寺 信 一	ポーランド・連合王国 アメリカ合衆国	海外教育事情視察	54. 10. 9 54. 11. 7	〃
文教育学部 助 教 授	興 水 はる海	中華人民共和国	中国体育学調査	54. 9. 5 54. 9. 17	研 修
文教育学部 教 授	坂 本 満	イタリア共和国 フランス共和国・連合 王国	国際美術史学会出席	54. 9. 11 54. 9. 25	〃
家政学部 助 教 授	板 倉 寿 郎	アメリカ合衆国	マサチューセッツ工科大学において環境芸術について研究及び討議	54. 9. 13 54. 9. 30	〃
家政学部 教 授	田 口 恒 夫	連合王国	英国乳幼児発達研究の調査	54. 9. 22 54. 10. 6	〃
家政学部 教 授	藤 卷 正 生	スイス連邦	国際食品科学工学連合役員会出席、食物嗜好に関する国際シンポジウム出席	54. 9. 25 54. 10. 6	〃

○昭和54年度監督者研修について

係長に対し、その行政的視野の拡大を図るとともに、中間監督者としての役割とあり方を自覚させ、その資質の向上を図ることを目的として、監督者研修が次のとおり実施された。

期間 昭和54年10月2日(火)～10月5日(金)

会場 本部棟第二会議室

修了者 15名

研修内容及び講師

研 修 内 容	講 師	所要時間
1 特別講義		分
(1) 人事管理について	事務局長	30
(2) 中国の史跡と博物館	文教育学部教授 関野 雄	120
(3) 監督者の健康管理	家政学部附属食化 研助教授 五十嵐 脩	90

研 修 内 容	講 師	所要時間
(4) 新しい監督者の条件	教育訓練総連合副 会長 伊 藤 哲 郎	120
2 JST JST継続課程	人事院関東事務局 総務課 専門官 中 嶋 璉	660
3 見 学 東京国立近代美術 館		150
4 その他 開講式、オリエン テーション研修の まとめ、閉講式		60
計		1,230 (20.5時間)

○昭和54年度教職員家族運動会の実施について
 昭和54年度全学レクリエーション行事の一環として、本年度も10月27日（土）午後1時から大学グラウンドにおいて教職員家族運動会を実施した。
 部局別総合成績の順位・得点は、次のとおりであった。

順位	得点	チ ャ ム 名
1	51	Dチーム（文教育学部、附属学校）
2	37	E “（理学部、家政学部）
3	30	B “（会計課）
4	28	C “（学生部、保健管理センター、附属図書館、女性文化資料館）
5	20	A “（庶務課施設課、人間文化研究科）

訃 報

○野口 明名誉教授死去

名誉教授野口 明氏には、病気のため9月3日逝去されました。享年84才。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

なお、同氏には、昭和41年秋の生存者叙勲で勲2等旭日重光章が授与されておりましたが、このたび生前の功績により正3位に叙せられ、祭葬料が下賜されました。

○新任者住所

○職員の仕事変更

○住居表示変更

日 誌 (抄)

- 9月1日（土） 大学院理学研究科（修士課程）入学願書受付（9月1日～10日）
- 3日（月） 昭和55年度共通第1次学力試験情報処理事務連絡会（於大学入試センター）
- 6日（木） 教職員家族運動会実行委員会
- 8日（土） 公開講座、夏季休業終
- 11日（火） 事務連絡会議
- 12日（水） 大学院人間文化研究科会議
- 13日（木） 教育実習委員会、大学院理学研究科（修士課程）入試（13日、14日）
- 17日（月） 一般教育委員会、関東甲信越地区国立大学事務局長会議（17日、18日：於山梨大学）、教職員家族運動会実行委員会
- 18日（火） 部局長会議、国立大学等会計事務電算化講習会（18、19日、20日：於信州大学）
- 19日（水） 研究科委員会（人文科学・家政学）、各学部教授会、大学院理学研究科（修士課程）合格者発表
- 20日（木） 教育実習担当者説明会、教育職員免許事務担当者説明会（於東京都立教育研究所）、文教育学部附属小学校開校記念日
- 21日（金） 学寮委員会、学寮協議会、教務委員会
- 22日（土） 留学生顧問教育会議、第26回東京地区国公立大学連合文化会（美術部門）学生委員分科会（於東京医科歯科大学）、公開講座

25日(火)	部局長会議、前学期末試験(9月25日～10月1日)	修センター)
26日(水)	評議会、学生会館運営委員会、一般教育2・3号館開館披露	18日(木) 昭和54年度関東甲信越地区国立大学 広報・文書研究協議会(18日、19日： 於信州大学)
27日(木)	学寮委員会、第59回関東甲信越地区 国立大学庶務部課長会議(27日、28 日：於群馬大学)、教職員家族運動 会実行委員会	20日(土) 微音祭企画フィルムコンサート (本学講堂)、第26回東京地区国公立 大学連合文化会(美術部門)委員会 及び分科会(於東京医科歯科大学)、 公開講座
29日(土)	公開講座	22日(月) 学生会館運営委員会
10月1日(月)	入試委員会、第30回文部省会計事務 特別研修(10月1日～20日：於オリ ンピック記念青少年総合センター)	23日(火) 部局長会議、全学附属準備委員会、 保井・黒田奨学金候補者審査委員 会、国立7大学理学部事務長会議 (本学)
2日(火)	昭和54年度監督者研修(2日～5日 ：本学)、秋季休業(2日～7日)	24日(水) 評議会、学寮委員会、国立7大学理 学部部長会議・国立22大学理学部長 会議(於麴町会館)
3日(水)	10月卒業式・学位記授与式、第17回 全国大学保健管理研究集会(3日、 4日：於北海道大学)、第17回全国 厚生補導研究集会(3日～5日：於 金沢大学)、外国人留学生見学旅行 (3日～5日：伊豆、下田、大島)、 国立大学臨海・臨湖実験所技官研修 会議(3日～5日：理学部附属臨海 実験所)	25日(木) 第62回関東甲信越地区国立大学会計 部課長会議(25日、26日：於宇都宮 大学)、第69回東京地区国公立大学 厚生補導部課長会議(於東京芸術大 学)、昭和54年度第2回東京地区国 立大学栄養士連絡協議会(於千葉大 学)、国立大学理学部長懇談会(於 東京工業大学)
4日(木)	文部省共済組合全国事務担当者打合 せ会(4日、5日：於国立科学博物 館)	26日(金) 第13回東京地区国公立大学入学主幹 ・入試担当課長会議(於電気通信大 学)、第1回東京地区国公立大学入 試担当係長会議(於電気通信大学)
6日(土)	公開講座	27日(土) 昭和54年度教職員家族運動会、昭和 54年度女子大学連盟総会(於神戸女 学院大学)、公開講座
8日(月)	大学院研究科連絡委員会、後学期授 業開始	29日(月) 学寮委員会、学寮協議会
11日(木)	昭和54年度文部省共済組合実地監査 (11日、12日)、大学院家政学研究科 (修士課程)入試	30日(火) 昭和54年度後期分授業料免除選考 会、保井・黒田奨学金候補者審査委 員会
12日(金)	米国ミシガン州教育関係者視察団来 訪	31日(水) 体育祭
13日(土)	公開講座、教職員家族運動会実行委 員会	
15日(月)	事務連絡会議、学生委員会、附属学 校運営委員会	
16日(火)	部局長会議、第17回関東甲信越地区 国立学校係長研修(16日～19日：於 大学セミナー・ハウス)	
17日(水)	研究科委員会(人文科学・家政学)、 各学部教授会、第18回東地区国立大 学学生会館運営協議会(17日、18日 ：於弘前大学)、第14回関東甲信越 地区国立大学等会計事務職員研修会 (16日～20日：於新潟県立青少年研	